

日・中・韓の書家によるオープニングパフォーマンス

11月8日(水) 11:00

日本 — 金澤 翔子、鈴木 達也

中国 — 趙 靖

韓国 — Chang-Woo Seok

【プロフィール】

●金澤 翔子

5歳から母の師事で書を始める。日本を代表するダウン症の書道家。鎌倉建長寺、京都建仁寺、奈良東大寺はじめ全国の名刹で揮毫奉納。国連本部でスピーチ。2017年9月上野の森美術館で個展開催。



趙 靖

●Chang-woo Seok

韓国の障害者を代表する義手の書道家。1988ソウルオリンピック・パラリンピックのオープニングにおいてのパフォーマンスは世界で注目をあびた。国の主催イベントでの揮毫多数。国際的にも活躍する。



鈴木 達也

●趙 靖

19歳の頃、事故により両腕を失う。その後口で筆を銜えて書道の練習を始める。国内外での受賞歴多数。1998年「趙靖書画アートセンター」を創立し、現在3000人の受講生がいる。

●鈴木 達也

出産時が原因で脳性マヒによる四肢体幹機能障害に。考案した特殊なヘッドキャップに筆を取り付けて首の力で20歳頃から書をかき始める。1990年東京都鈴木前知事のメッセージを携えアメリカ訪問、個展を開催。北区区民文化奨励賞受賞、展覧会の受賞歴多数。



金澤 翔子



Chang-Woo Seok



豊島区役所庁舎
(東京メトロ有楽町線 東池袋駅直結)

1Fセンタースクエア
豊島区南池袋2-45-1

2017 アジア・パラアート —書— TOKYO委員

実行委員長 八代英太(日本チャリティ協会理事・元郵政大臣)
副委員長 高野之夫(豊島区長)
 足立盛二郎(日本チャリティ協会理事・元ゆうちょ銀行会長)
委員 鈴木賢一(NHK厚生文化事業団理事長)
 山本 貞(日本チャリティ協会理事・日本芸術院会員)
 建皇哲(多摩美術大学学長)
 寺尾徹(全国社会福祉協議会常務理事)
 宮城まり子(ねむの木学園理事長)
 出口恵山(奎星会名誉顧問)
 中原志軒(奎星会会長)
 西村修一(毎日書道会専務理事)
 三岡昭博(毎日新聞企画部長)
 金澤泰子(書家)
 張 和勇(中国 장애인 雑誌社副編集長)
 申 鐘鎬(韓国 장애인 文化芸術院理事長)
 金 忠顯(韓国 장애인 美術協会会長)

運営委員長 堀 吉光(奎星会理事長)
副委員長 足立則夫(チャリティ協会評議員)
委員 海老名香葉子(日本チャリティ協会理事)
 藤崎誠一(日本チャリティ協会評議員)
 桐山正寿(毎日新聞社芸部)
 高橋隆史(豊島区保健福祉部障害福祉課長)
 小畑延子(書家)
 佐方紀子(日本チャリティ協会評議員)
 塚田祐之(日本チャリティ協会顧問)
審査員 堀 吉光(奎星会理事長)
 金澤泰子(書家)
 桐山正寿(毎日新聞社芸部)
監事 内野繁弁護士(日本チャリティ協会評議員)
事務局長 水巻中正(日本チャリティ協会理事)
総括 **高木金次(日本チャリティ協会会長)**

順不同、敬称略

お問い合わせは、公益財団法人 日本チャリティ協会(担当:瀬川)まで

TEL 03-3341-0803

FAX 03-3359-7964

MAIL info@paraart.jp

WEB http://paraart.jp



公益財団法人 日本チャリティ協会

〒160-0004

東京都新宿区四谷1-19 中沢ビル4階